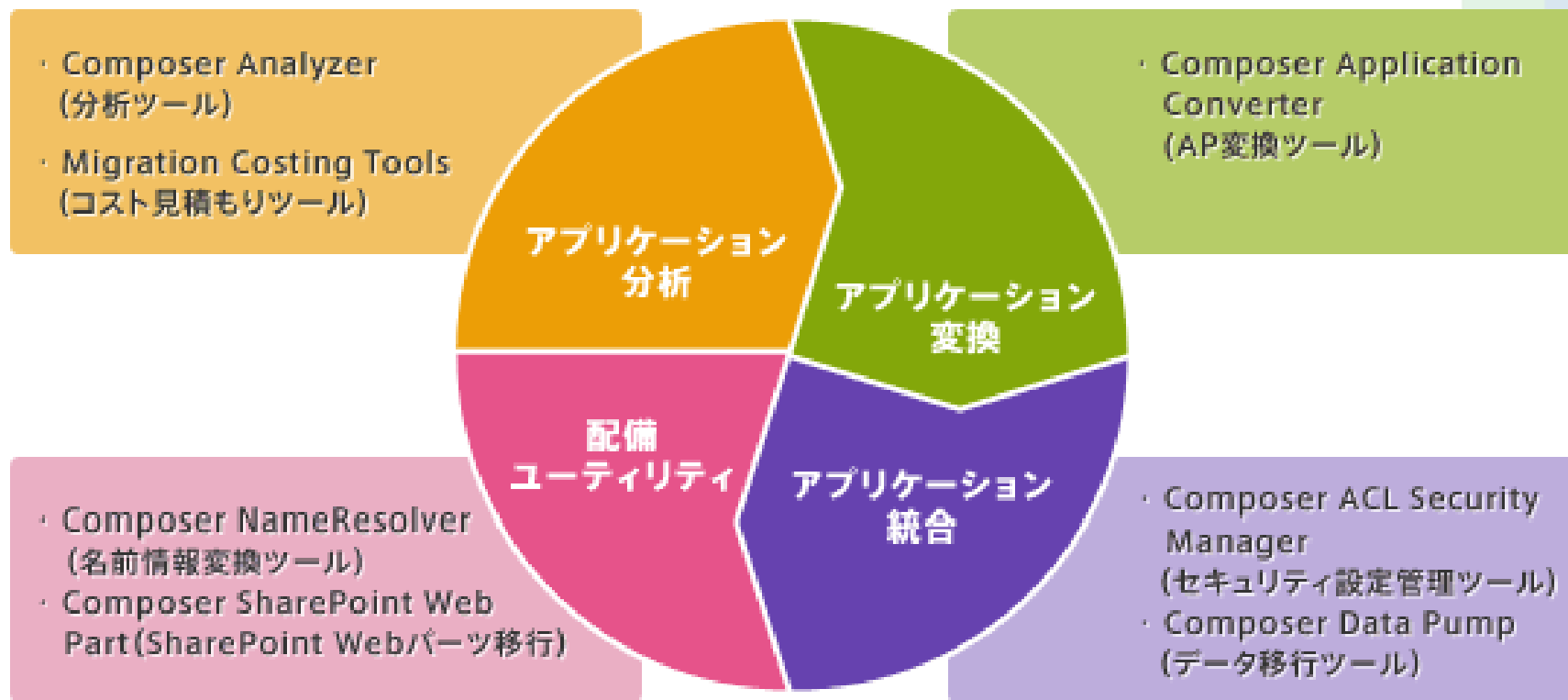




移行ツール'Composer for Lotus Notes'

移行ツール「Composer for Lotus Notes」は、以下のコンポーネント群を提供しており、移行プロセス全体の効率化、品質向上に役立っています。



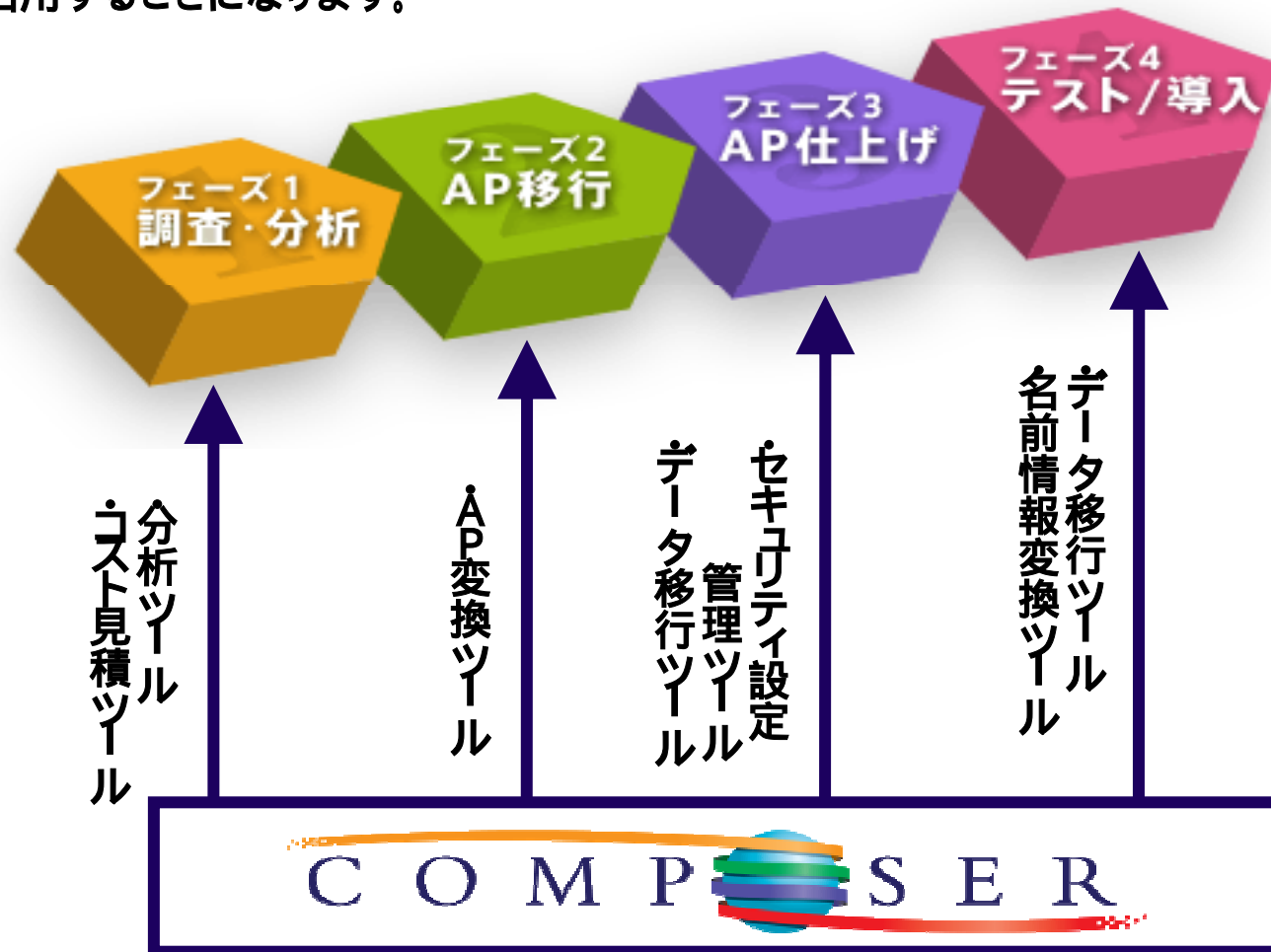
各コンポーネントの機能概要

コンポーネント名	機能概要
Composer Analyzer	.nsfファイルを読み込み、Notesアプリケーションの内容を詳細に分析して以下の内容をレポート。 <ul style="list-style-type: none"> ・対象のアプリケーションの規模、複雑性を指標化 ・AP移行上の課題の事前洗い出し(自動移行できない部分を洗い出し一覧化) ・移行ターゲット環境(ASP.NET/SharePoint)の推奨
Migration Costing tools	Analyzerの分析結果を入力にして、移行の標準コストと期間を算出(概算見積)
Composer Application Converter	Notesアプリケーション(.nsf)を入力として、ロジック、UI等の各要素を.Net環境における該当するコンポーネントに変換して.Netアプリケーションのプロジェクトファイルを出力 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスロジック、ワークフローのC#コードへの変換 ・ユーザインターフェイスをASP.Netに変換 ・読者フィールド/管理者フィールド/ Hide When 等のセキュリティ機能を実装
Composer ACL Security Manager	移行後の新セキュリティプロバイダー(Active Directory等)とNotesのアクセス制御用ACLユーザ/ロールとのマッピングを管理。
Composer Data Pump	Notesアプリケーションのデータを、リレーショナルDB(MS SQLサーバー,Oracle)に移行。一括移行、差分移行が可能。
Composer NamesResolver	文書データに含まれる権限管理のための名前情報を新ディレクトリ(AD)の名前情報に変換
Composer SharePoint Web Part	移行されたASP.NETアプリケーションを、SharePoint統合のためにWeb Parts化を実行



移行プロセスと 移行ツール'Composer for Lotus Notes'の役割

Composerでは、Notesアプリケーションの移行に伴う課題への体系的な対応と効率的な移行作業を以下に紹介する移行ステップに従って行います。各ステップにおいて、移行ツールコンポーネントを適宜活用することになります。





Composerソリューションの移行ステップ

フェーズ1:調査・分析フェーズ

移行対象となるアプリケーションの分析とエンドユーザの移行に伴う要件を明確に定義して、移行プロジェクトの計画を確定します。移行対象の規模や複雑性による変動リスクの回避およびエンドユーザの要件を確定するために必要に応じて、サンプル移行を行うこともあります。

フェーズ2:アプリケーション変換

フェーズ1で定義された要件に従って、移行対象のLotusNotesのデータベース(.nsfファイル)を変換し、.Net環境で稼動するアプリケーションに移行を行います。

フェーズ3:アプリケーション仕上げ

フェーズ2で変換したアプリケーションには、自動変換できなかった部分が To-Do'一覧として提供されるので、その部分の仕上げ及び周辺システムとの連携、セキュリティ設定等を行ってアプリケーションとして完成されます。

フェーズ4:テスト/導入

フェーズ1で策定されたテスト計画に従って、変換されたアプリケーションの機能テストを行い、完了後に本番環境への導入が行われる。